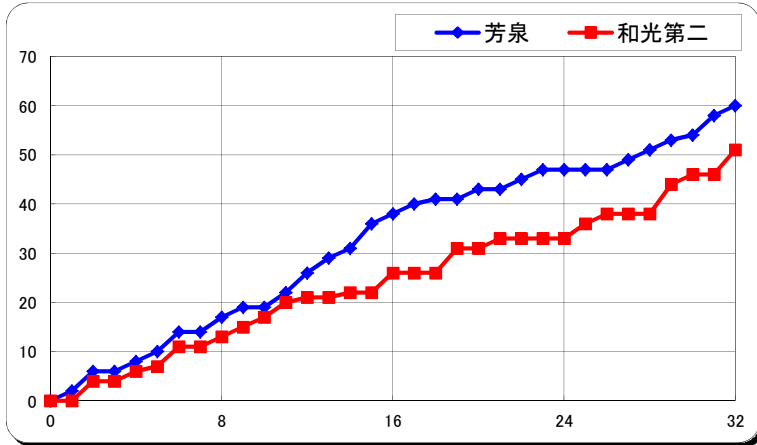




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	蓮田市総合市民体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 10:50																
コート	Hコート 第2試合																
カテゴリ	男子	予選Hリーグ															
主審	吉田 康人 (石川県)																
副審	五十嵐 清隆 (福島県)																
Team A		Team B															
芳泉 (岡山県)	60	51 和光第二 (埼玉県)															
	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>9</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	17	1st	13	21	2nd	13	9	3rd	7	13	4th	18	OT			
17	1st	13															
21	2nd	13															
9	3rd	7															
13	4th	18															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		芳泉					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	宮田 貴将	×	14	0	6	2	5
5	小川 風馬	DNP	0	0	0	0	0
6	坂屋 歩	DNP	2	0	0	2	0
7	高原 優一	×	20	0	9	2	3
8	岡林 凜太郎	×	4	0	2	0	1
9	新免 憲司	×	14	2	3	2	1
10	稲田 智也	×	2	0	1	0	0
11	山本 達也	/	4	0	2	0	2
12	立花 弘行	DNP	0	0	0	0	0
13	井上 颯太	DNP	0	0	0	0	0
14	河田 英明	DNP	0	0	0	0	0
15	作本 龍隆	DNP	0	0	0	0	0
16	土屋 拓磨	DNP	0	0	0	0	0
17	小林 薫	DNP	0	0	0	0	0
18	岡崎 惇平	DNP	0	0	0	0	0
監督	小村 将司						0
コーチ	長森 明子						0
合計			60	2	23	8	12

Team B		和光第二					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	川口 柊斗	×	12	2	1	4	3
5	大崎 直人	×	10	0	5	0	1
6	野島 大稔	×	15	3	3	0	2
7	児島 和樹	×	2	0	1	0	0
8	平岡 剣也	/	4	0	2	0	2
9	中島 修平	×	8	0	3	2	4
10	佐野 佑太	DNP	0	0	0	0	0
11	中村 優太	DNP	0	0	0	0	0
12	梅本 拓哉	DNP	0	0	0	0	0
13	千葉 諒	DNP	0	0	0	0	0
14	竹原 智輝	DNP	0	0	0	0	0
15	浅井 輝	DNP	0	0	0	0	0
16	前木場 一輝	DNP	0	0	0	0	0
17	川口 颯太	DNP	0	0	0	0	0
18	大藪 紹太	DNP	0	0	0	0	0
監督	川端 優司						0
コーチ	0						0
合計			51	5	15	6	12

【戦評】

芳泉VS和光第二の予選第1戦目。開始早々、芳泉#4のゴール下シュートからゲームが動き出す。互いにマンツーマンDefでスタート。芳泉は、#4、#7のミドル・ゴール下、和光第二はブレイク・#6、#7、#9のミドルで応戦。芳泉17-13和光第二で1Qを終了。2Q芳泉は#7のポストプレイ#9の3Pで、突き放しにかかるが、和光第二もブレイク・#4、#8の合せてバスケットカウント。フリースローを確実に決める。和光第二は残り4分タイムアウトを取り、Defを2-1-2のゾーンに変えるが、芳泉#9に3Pを決められ、再びタイムアウト。Defをハーフマンツーマンに戻す。しかし芳泉は#4、#10のミドル・#9のドライブインと確実に得点を重ね、芳泉38-26和光第二で前半終了。後半、芳泉は#4の個人技・#7のポストプレイで得点を重ねる。和光第二は#9の3P・#6のドライブで対抗する。残り4分芳泉のパスミスからブレイクを決められ10点差。芳泉たまたまタイムアウト。その後#7がポストプレイで得点を重ね、芳泉47-33和光第二で3Q終了。4Q、和光第二#6の3P・#8のミドルが決まり9点差に。しかし芳泉は#7、#9が確実にシュートを決め再び点差を広げる。残り3分和光第二が3Pを立て続けに決め7点差まで詰め寄る。残り1分30秒、和光第二はDefをゾンプレスに変え、最後まで食らいついたが芳泉の落ち着いたボール運びにより、芳泉60-51和光第二でタイムアップ。

【戦評記入者】

谷口 恭史

埼玉県中学校体育連盟 バスケットボール専門部